



バイエル薬品株式会社

〒530-0001  
大阪市北区梅田 2-4-9  
TEL 06-6133-7333  
www.byl.bayer.co.jp/

## News Release

2017年2月28日(火)は Rare Disease Day (世界希少・難治性疾患の日):

### バイエル薬品、慢性血栓塞栓性肺高血圧症の認知促進を目指して『CTEPH バルーン・ドリーム』プロジェクトを開催

- CTEPH の認知向上の輪を広げ、患者さんの支援につながるプロジェクト
- 開催期間：世界希少・難治性疾患の日(2/28)～世界肺高血圧症の日(5/5)まで
- バイエル薬品公式 Facebook (<https://www.facebook.com/official.byl/>) で CTEPH に関する情報発信

大阪、2017年2月28日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:ハイケ・プリンツ、以下バイエル薬品)は、CTEPH [シーテフ](慢性血栓塞栓性肺高血圧症)の認知促進と患者さんの支援を目的として、『CTEPH バルーン・ドリーム』プロジェクトをバイエル薬品公式 Facebook 上で2月28日(火)より5月5日(金)まで開催いたします。

昨年に引き続き、2回目となる『CTEPH バルーン・ドリーム』プロジェクトは、難病のひとつである CTEPH のことを多くの方に知ってもらい、患者さんへの支援につなげていくことを目的とした啓発活動です。

バイエル薬品公式 Facebook 上で CTEPH に関する情報や

CTEPH 啓発大使でプロサッカー選手の細貝萌さんからのメッセージ、支援の累計情報などを発信するとともに、本プロジェクトに関する投稿に「いいね!」や「シェア」などのアクションを呼びかけプロジェクトへの参加を募ります。一般の方より寄せられたこれらのアクションの総数に対して、1件につき200円で換算した金額を、CTEPHをはじめとする肺高血圧症(PH)患者さんの支援や団体活動などにバイエル薬品が寄付いたします。



バイエル薬品が2015年に実施したインターネット調査では、CTEPHの認知は「潰瘍性大腸炎」、「パーキンソン病関連疾患」、「ウェゲナー肉芽腫症」など他の難病と比べても最も低い12.6%であり、“内容(症状)まで詳しく知っている”と回答した方はわずか1.5%にとどまりました。\* また2014年にNPO法人PAHの会(肺動脈性肺高血圧症 Pulmonary Arterial Hypertension: PAH)が実施した患者さん93名を対象とした

アンケート調査では、発症後、専門医を受診するまでの期間は平均で3.5年かかっていることがわかっています。\*\*

バイエル薬品はさまざまな啓発活動を通じて、CTEPHの早期発見・早期治療につながる環境づくりに寄与していきたいと考えています。

\* バイエル薬品 CTEPHと難病に対する意識調査(2015)

[http://byl.bayer.co.jp/html/press\\_release/2015/news2015-04-20.pdf](http://byl.bayer.co.jp/html/press_release/2015/news2015-04-20.pdf)

\*\* NPO 法人 PAH の会 患者調査(2014)

#### <CTEPH 啓発大使:プロサッカー選手 細貝萌さんからのコメント>

この活動をさせていただいてもうすぐ丸4年になります。これまでの活動を通して少しずつCTEPHのことを認知していただいている方が増えてきたのかなとは感じますが、まだまだ十分とは言えないと思っています。

今までも多くの患者さんと話をさせていただく機会がありましたが、ほとんどの方が「何かおかしいけど、病院に行ってもなかなか原因がわからなかった」という方でした。早期に発見できて、早期に治療ができていれば重症化しなかったかもしれないのに、気づかなかったために苦しんでいる。それがとても悔しいです。

少しでも多くの方にこの病気を知って頂き、この病気で苦しむ方が増えないようにするためにも、是非多くの皆さんにこのプロジェクトに参加していただければと思います。

#### <NPO 法人 PAH の会理事長 村上紀子さんからのコメント>

肺高血圧症のひとつであるCTEPHという聞きなれない病気がこのような活動を通して、広く一般の方に知られることにより、病気の早期発見、治療開始につながる事ができれば大変うれしく思っています。

#### <『CTEPH バルーン・ドリーム』プロジェクト 概要>

■バイエル薬品公式 Facebook <https://www.facebook.com/official.byl/>

■主な投稿予定コンテンツ **CTEPHに関する情報**

・CTEPHの基礎知識(原因・症状・検査・治療など)や患者さんの日常生活についてわかりやすくご紹介します。

**プロサッカー選手の細貝萌さんからのメッセージ**

**支援の累積情報**

■患者さんの支援について

本プロジェクトに関する投稿に下記開催期間中に寄せられた「いいね!」「シェア」及び「コメント」などのアクションの総数を1件につき200円で換算し、CTEPHをはじめとするPH患者さんの支援や団体活動に寄付します。

■プロジェクトの開催期間

**2017年2月28日(火)～2017年5月5日(金) (予定)**

■運営:

**バイエル薬品株式会社**

## <CTEPH バルーン・ドリームプロジェクト ロゴマーク>



### 「CTEPH(シーテフ)」とは

CTEPH は、慢性血栓塞栓性肺高血圧症(まんせいけっせんそくせんせいはいこうけつあつしょう)(chronic thromboembolic pulmonary hypertension)の略称で、「シーテフ」と呼ばれています。

CTEPH では、肺の血管の内側に血のかたまり(血栓)が詰まり、血液が流れにくくなって、肺動脈(はいどうみゃく)へかかる圧が上昇する“肺高血圧症”と呼ばれる状態が続きます。肺と心臓の血液の流れが悪くなるので、息苦しさや身体のだるさ、胸の痛みなど様々な症状があらわれます。治療法としては、血栓を取り除く外科手術や、カテーテル(中が空洞の細く柔らかい管)で血管を広げる治療が行われており、また最近では肺動脈を広げる作用を持つ内服薬での薬物治療もあります。

### バイエルについて

#### **Bayer: Science For A Better Life**

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。「Science For A Better Life」というミッションのもと、バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は 468 億ユーロ、従業員数は 115,200 名(2016 年)。設備投資額は 26 億ユーロ、研究開発費は 47 億ユーロです。この数字は、コベストロ社として株式市場に 2015 年 10 月 6 日に上場した高機能ポリマー材料の事業を含んでいます。詳細は

[www.bayer.com](http://www.bayer.com)をご参照ください。

### バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用医薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用医薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、「Science For A Better Life」というミッションのもと、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は [www.byl.bayer.co.jp](http://www.byl.bayer.co.jp)をご参照ください。

バイエル薬品株式会社

2017 年 2 月 28 日、大阪

**将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)**

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 ([www.bayer.com](http://www.bayer.com)) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。